

税関の使命、行動指針等

世界最先端の税関を目指して

経済活動のグローバル化が
急速に進む中、
3つの使命を
税関は果たしています



1. 安全・安心な社会を実現する

銃器・不正薬物・知的財産侵害物品等の密輸を阻止するとともに、我が国におけるテロ行為を未然に防止することにより「世界一安全な国、日本」を構築

2. 適正かつ公平に関税等を徴収する

約9.2兆円すなわち国税収入の約14.9%に相当する額を徴収する歳入官庁として、適正かつ公平に関税等を徴収

3. 貿易の円滑化を進める

国際物流におけるセキュリティを確保しつつ、民間企業との協力やIT化の推進などを通じ、通関手続を一層迅速化

税関職員は、
5つの行動指針に則って、
3つの使命遂行に
取り組んでいます



1. 誠実に行動し、社会からの信頼と期待に応えます。
2. 誇りと使命感を持って、業務に取り組みます。
3. 円滑なコミュニケーションを図り、チームで前進します。
4. 改善意識を高め、日本と世界の変化に機敏に対応します。
5. 自ら学び考え、プロフェッショナルとして成長します。

最先端技術を活用した検査機器の配備

不正薬物を高精度に探知する先端技術を調査・研究するとともに、既存の技術も導入し、さらに有効な検査機器を配備します。



各国税関等との協力

税関相互支援協定の締結など諸外国の税関との連携を進めることにより、税関行政の更なる質の向上に努めています。



3つの使命を遂行するための取り組み



IT化の推進

税関手続のIT化を一層進めることで、輸出手続の更なる簡略化、効率化を実現し、利用者の利便性の向上を図っています。



関係機関との協力

関係機関と日々から緊密な連携・情報交換を行い、政府一体となって厳格な取締りを実施しています。



人材育成

柔軟性・国際性・総合性を備えつつ、国民の目線に立ち、高い志をもって職務を遂行できる職員を育成しています。



民間企業との協力

民間企業と税関とのパートナーシップの構築により、国際貿易の一層の円滑化を進めています。